

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築					
市町村名	大町市		ふりがな箇所名	(一) 有明大町線		観音橋西		事業年度	年度～		年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=400m W=6.5(16.0)m						H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降降残実施内容	同上						本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	-						用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費		H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降降残						
	事業費計(千円)	80,000		0	0	0	80,000						
財源内訳	国庫支出金												
	その他												
	県債	72,000		0	0	0	72,000						
	一般財源	8,000		0	0	0	8,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課			
								ランク	評価	ランク	評価		
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上			1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満		B	4	B	4	
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある		0		0			
		ネットワーク (道路網)	バス路線である			駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線		A及びBに該当しない		3		3	
			ボトルネック箇所			ボトルネック箇所でない				4		4	
		観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない					2		2	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)			4.0m以上5.5m未満(幅員)		5.5m以上(幅員)		0		0	
			歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し		4		4	
	他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施							0	0			
	小計								17	17			
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない		B	3	B	3
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)			緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)		特別な位置づけはない		3	3		
		小計								6	6		
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		B	5	B	5
		事業効果の早期発現 (H21以降降残事業年数)	事業年数 3年以内			事業年数 4年～5年以内		事業年数 6年以上			5		5
		コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。		コスト削減はしていない。			0		0
		小計									10		10
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	10	A	10
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路			6		6
小計									16		16		
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	3	B	3	
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない			4		4	
	小計									10		10	
費用対効果(B/C)	4.6			評価の合計				B	59	B	59		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、大町市総合病院、市役所、高校等公共機関が集中する市街地と大町市西部を結ぶ生活道路で、救急医療の観点からの重要な位置にある。幅員が狭いため大型車のすれ違いに支障をきたし、歩行者の安全も確保されていないため早期の改良が必要である。											
	地域からの要望経緯	地域の住民からも改良要望が強いが、用地買収が難航している。最近H19年8月に大町市より要望を受けている。											
	事業説明等の経緯	全体計画については、平成9年度より地元説明にはいり、近年は平成17年に地区への説明を実施している。											
	環境・景観への配慮項目	歩道へ植樹帯を設置し緑化に努めていく。											
	他事業・プロジェクトとの関連	本路線は、事業が進められている「国営アルプスあずみの公園」への大町市街地からのアクセス道路である。											
	特記事項	平成17年に供用した観音橋の架替事業に伴う、路線改良。											
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他				
部意見	ボトルネック箇所であり交通事故も発生しているが、地権者2名が事業に反対しており現時点で用地買収に応じる意向がないことから事業未着手である。				政策評価課	意見					ボトルネック箇所解消の必要性は認められる。		